

令和5年度 「体育・スポーツにおける多様な性のあり方」 オンライン研修会 開催要項

1. **趣旨**：日本スポーツ協会は、LGBTQ+などの性的指向や性自認に関する権利が保障されていない人々への配慮ある身体活動・スポーツ空間をめざし、実態調査にもとづく課題抽出と対策の分析を行うとともに、研修会等を通して体育・スポーツにおける「多様な性のあり方」について啓発を行うことを目的としたプロジェクトを設置している。この度は、体育・スポーツにおける「多様な性のあり方」についてより広く啓発活動を推進することを目的とし、当協会の取り組みの紹介や、最近の国際情勢、先進事例を共有するためのオンライン研修会を開催する。
2. **主催**：公益財団法人日本スポーツ協会
3. **後援**：スポーツ庁
4. **期日・会場・定員・参加料等**：
 - 期 日：令和6年1月22日（月）～2月11日（日）
 - 会 場：オンライン（オンデマンド形式）
 - 定 員：500名
 - 参加料：4,620円（税込）
5. **内容・時間**：

内容		時間 (分)
第1部	【Prologue】誰もが自分らしくスポーツを楽しむために - 7,000人のJSP0公認スポーツ指導者の声から生まれた教材- 来田 享子 氏（中京大学）	6
	【Chapter 1】基礎的知識と体育・スポーツ場面での課題 大勝 志津穂 氏（椙山女学園大学）	25
	【Chapter 2】競技参加をめぐる国内外のルールと動向① - DSDsを中心に - 松宮 智生 氏（清和大学）	17
	【Chapter 3】競技参加をめぐる国内外のルールと動向② - トランスジェンダーを中心に - 藤山 新 氏（東京都立大学）	27
	【Chapter 4】LGBTの人々の人権の保障 建石 真公子 氏（法政大学）	26
	【Epi logue】アスリートの20年後の人生のために 来田 享子 氏（中京大学）	5
第2部	対談～多様な性のあり方について考える～ 高峰 修 氏（明治大学） 松中 権 氏（グッド・エイジング・エールズ）	43
第3部	「『多様な性のあり方』の視点からスポーツ指導者に求められる指導上の配慮に関する調査」研究報告 大勝 志津穂 氏（椙山女学園大学）	35

計 184分

6. 参加方法：

下記により参加申込ページに移動してお申し込みをお願いいたします。

日本スポーツ協会ホームページ (<http://www.japan-sports.or.jp/>)

⇒ 主な事業 「スポーツ医・科学研究」

⇒ 研修会に参加する 「体育・スポーツにおける多様な性のあり方」研修会

⇒ 多様な性のあり方 > 「体育・スポーツにおける多様な性のあり方」研修会

⇒ 「体育・スポーツにおける多様な性のあり方」オンライン研修会

※ 各種お知らせにつきましては、ご登録いただいた E-mail アドレス宛に、「npc-online@npc-tyo.co.jp」のアドレス、「@npc-tyo.co.jp」、「@my.japan-sports.or.jp」及び「@japan-sports.or.jp」のドメインから送信されます。ご使用のメーラーの設定（迷惑メールブロック等）により受信できないことがあるため、受信許可設定をお願いします。各種お知らせ E-mail の不着により参加できなかった場合、返金等の対応はいたしません。

7. オンデマンド研修会に関する注意・免責事項：

- (1) 参加者は、自己の責任において、参加するために必要なパソコン等の端末、通信機器、通信回線その他の設備を準備し、管理するものとします。参加者の都合（迷惑メールブロック等による各種お知らせメールの不着を起因とした欠席を含む）により参加できなかった場合は返金等の対応はいたしません。参加のための情報が届かない場合はお問い合わせ先までご連絡ください。
- (2) 公認スポーツ指導者資格更新対象者は、入退室記録及び確認テストの実績を資格更新研修への参加証憑としますので、参加者1名につき1台のパソコン等の端末を準備するものとします（パソコンの利用を推奨します）。
- (3) 参加するために必要な通信回線の利用料金は参加者が負担するものとします。
- (4) 最新のコンピュータウィルス対策等がなされている機器を使用してください。主催者は、参加によりコンピュータウィルスや第三者の妨害等行為による不可抗力によって生じた損害等の一切の責任を負いません。

8. 個人情報・肖像権の取り扱いについて：

- (1) 参加者の個人情報は、参加可否（内定・決定）の通知、参加者名簿の作成、関連資料の送付、傷害保険の加入・適用に係る事務、「体育・スポーツにおける多様な性のあり方」に関する各種案内を目的に使用します。
- (2) 参加者の個人情報は、以下の通り共同利用します。

共同して利用される個人情報の項目	参加申込フォームに入力された情報
共同して利用する者の範囲	公益財団法人日本スポーツ協会
共同して利用する者の利用目的	(1)に記載の目的
個人情報の管理責任者	公益財団法人日本スポーツ協会 詳細： https://www.japan-sports.or.jp/privacy/policy.html

- (3) 参加者の個人情報、法令に基づく場合を除き、本人の同意なしに第三者に開示・提供されることはありません。
- (4) 事業中に撮影した写真等については、日本スポーツ協会の各種媒体や作成物（ホームページ、広報誌、オウンドメディア、SNS、報告書）、情報配信サービスへ掲載されることがあります。

9. その他留意事項：

- (1) 申込期間内で到着順とし、定員を越えた場合はその時点で締め切ります。
- (2) 参加料のお支払い後に参加辞退・欠席された場合でも参加料は一切返金いたしません。また、参加者の都合（迷惑メールブロック等による各種お知らせメールの不着を起因とした欠席を含む）により参加できなかった場合も返金等の対応はいたしません。
- (3) 参加申込にあたって収集した個人情報は参加可否（内定・決定）の通知・関連資料の送付を目的に使用します。この個人情報は、参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません（法令などにより開示を求められた場合を除く）。
- (4) 日本スポーツ協会が認めた報道機関等が撮影した写真（開催報告・記録用に撮影した写真を含みます）等が、新聞、雑誌、テレビ、報告書および関連ホームページ等で公開されることがあります。また、日本スポーツ協会が認めた報道機関等が撮影した映像（開催報告・記録用に撮影した映像を含みます）等が、中継または録画放映されることがあります。
- (5) 申込フォームやアンケートへの回答結果は、統計的に処理して回答者が特定されることのないデータとし、プライバシーや人権を侵害しない範囲で学会発表や論文など学術的な目的に使用することがあります。
- (6) 地震・台風・火災等などの天災、感染症、テロ、第三者からの指示・命令、その他不可抗力により開催を中止する場合は、申込時に登録されたメールアドレスに連絡する他、公益財団法人日本スポーツ協会のホームページ等によりその旨を掲載します。
- (7) 本研修会への参加により、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修を修了したことになります。なお、テニス資格は2ポイント、バウンドテニス資格は1ポイント、チアリーディング（コーチ3のみ）資格は都道府県体育・スポーツ協会実施の1回分の実績となりますが、別途、資格毎に定められたポイント獲得や研修参加などの要件を満たす必要があります。ただし、次の資格については、更新研修を修了したことにはなりません。

[水泳、サッカー、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、エアロビック（コーチ4のみ）、スクーバ・ダイビング、プロゴルフ、プロテニス、プロスキー、オリエンテーリング、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー]（2023年4月1日現在）

詳細は日本スポーツ協会のホームページをご確認ください。

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid238.html>

※指導者マイページへの参加実績の反映は、研修参加から平均2か月後となります。

10. お問い合わせ先：

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ科学研究室

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

E-mail : spolab@japan-sports.or.jp

